

第134回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年5月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,105	-1.43	-0.15	4,070	-0.31	-0.07
東部地区	14,339	-0.40	-0.04	5,564	1.09	0.03
西部地区	10,754	0.55	-0.08	3,892	3.18	-0.23
駅南地区	6,410	0.73	0.32	2,601	0.89	0.23
半田地区	3,535	1.96	0.36	1,286	3.96	0.39
横山地区	5,671	0.67	-0.01	1,841	1.88	0.10
茨目・田尻地区	6,930	0.44	-0.04	2,324	1.21	0.30
荒浜地区	5,278	0.45	-0.15	2,018	2.48	0.00
その他地区	21,885	-1.23	-0.01	7,251	-0.28	0.06
西山町地区	6,589	-2.05	-0.01	2,161	-1.05	0.13
高柳町地区	2,111	-3.47	-0.47	860	-2.60	-0.23
柏崎市計	93,607	-0.45	-0.02	33,868	0.84	0.04
刈羽村	4,992	-0.10	-0.12	1,514	1.27	0.00
小国地区（長岡市）	6,658	-2.07	-0.12	2,148	-0.37	-0.09
出雲崎町	5,390	-1.58	-0.07	1,826	-0.27	-0.05
合計	110,647	-0.59	-0.03	39,356	0.73	0.03

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で下回り、全体で659人、0.59%の減少となっている。なお、市町村・地区別では柏崎市が426人、0.45%、刈羽村が5人、0.10%、小国地区（長岡市）が141人、2.07%、出雲崎町が87人、1.58%とそれぞれ減少している。

また、前月比においても、柏崎市が25人、0.02%、刈羽村が6人、0.12%、小国地区が8人、0.12%、出雲崎町が4人、0.07%と減少し、全体では43人、0.03%の減少となっている。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が283世帯、0.84%、刈羽村が19世帯、1.27%と増加していることから、全体では289世帯、0.73%の増加となった。

また、前月比においても、柏崎市が16世帯、0.4%と増加したことから、全体では13世帯、0.03%の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,251		3.30		3.04	
月間有効求職者	1,277		-8.12		-0.46	
月間有効求人倍率	0.98	0.89	0.11*	-0.02*	0.03*	-0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が1,251人と前年同月比で40人、3.30%の増加、前月比でも37人、3.04%の増加となった。

一方、月間有効求職者数は1,277人と前年同月比で113人、8.12%の減少、前月比でも6人、0.46%の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.98倍と前年同月比で0.11ポイント、前月比でも0.03ポイント上回っている。なお、県平均0.89倍に対しては0.10ポイントと大幅に上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が469人と前年同月比で46人、10.87%の増加、月間新規求職者数でも381人と前年同月比で35人、10.12%と増加した結果、月間新規求人倍率は1.23倍と前年同月1.22倍を0.01ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年5月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	25	-9	-12	62	-13
共 同 住 宅	0	-1	-4	4	3
事 務 所	1	1	1	1	1
作 業 所 ・ 工 場	2	-2	-3	7	2
営 業 建 物	2	2	0	4	1
公 共 建 物	1	0	1	1	-1
そ の 他	15	-11	7	23	-14
合 計	46	-20	-10	102	-21

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月申請合計が前年同月比で20件の減少、前月比でも10件の大幅な減少となり、工種全体では46件の申請となった。工種別内訳の主な増減をみると、前年同月比では一般住宅（併用）で9件、その他で11件の減少となり、前月比では一般住宅（併用）で12件、共同住宅で4件、作業所・工場で3件と減少したが、その他で7件の増加となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が22件、増築が19件、改築が5件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数については、市内施工業者が12件（うち新築0件、増築10件、改築2件）、市外施工業者が13件（うち新築7件、増築5件、改築1件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,607	0.34	0.14	18,884	5.60	-3.61
電 力	12,325	-2.70	0.13	44,589	3.87	-4.01

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で225口、0.34%の増加、前月比でも94口、0.14%の増加となった。一方、電力では前年同月比で343口、2.70%の減少となったものの、前月比では17口、0.13%の増加となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比で1,003kwh、5.60%の増加となったが、前月比では709kwh、3.61%と減少している。一方、電力も前年同月比で1,665kwh、3.87%の増加、前月比では1,865kwh、4.01%の減少となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,527,880	-5.86	-19.26	729,540	0.28	3.67
営 業 用	205,208	-3.08	-22.65	130,559	-1.20	0.91
工 場 用	408,185	49.68	-5.94	133,941	-3.89	-5.75
官 公 学 校 用	278,008	-5.30	-38.64	85,543	2.86	12.12
そ の 他				267	130.17	147.22
合 計	2,419,281	0.76	-20.54	1,079,850	-0.22	2.68

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域のガス供給量は、用途全体では前年同月比で18,274m³、0.76%の増加となったが、前月比では暖房需要の減少から625,594m³、20.54%の大幅な減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用が135,493m³、49.68%と大幅に増加しており、前月比では全ての用途で減少し、特に工場用を除く全ての用途では二桁台の大幅な減少となっている。

一方、水道給水量は、用途全体では前年同月比で2,402m³、0.22%の減少となったものの、前月比では28,285m³、2.68%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では営業用、工場用が減少しており、前月比では工場用を除く全ての用途で増加となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	76,640	-0.64	3.84	80,680	-1.79	4.69
西 山	41,270	-0.38	7.13	37,488	-1.05	8.46
米 山	25,261	1.72	14.09	22,258	1.58	11.41
合 計	143,171	-0.15	6.47	140,426	-1.07	6.70

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で224台、0.15%の減少となったものの、前月比では8,710台、6.47%の増加となった。

一方、出口においても、全体では前年同月比で1,527台、1.07%の減少、前月比では8,824台、6.70%の増加となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では柏崎、西山インターの出入口で減少しており、前月比では全てのインターの出入口で増加となった。特に米山インターの出入口は前年同月比でも増加、前月比では二桁台の増加率を示している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	335,362	0.40	-1.23	135,558	0.78	-1.80
平 残	334,741	1.09	1.28	135,007	0.56	-1.41

預金は、末残が前年同月比で1,358百万円、0.40%の増加となったものの、前月比では4,196百万円、1.23%の減少となった。また、平残においては前年同月比で3,633百万円、1.09%の増加、前月比でも4,244百万円、1.28%の増加となっている。

一方、貸出金は末残が前年同月比で1,056百万円、0.78%の増加となったが、前月比では2,497百万円、1.80%の減少となり、平残においても前年同月比で762百万円、0.56%の増加、前月比では1,940百万円、1.41%と減少している。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	6,427	-6.78	14.76
交 換 金 額	5,594	-0.96	20.03
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	-100.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	-100.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、交換枚数が前年同月比で468枚、6.78%の減少、前月比では前月末日の休日要因から827枚、14.76%の大幅な増加となっている。また、交換金額も同様に前年同月比で54百万円、0.96%の減少、前月比では933百万円、20.03%の大幅な増加となった。不渡手形は発生しておらず、前年同月比で5枚、3百万円の減少、前月比で6枚、3百万円の減少となっている。

平成19年5月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は8件（前年同月4件、前月7件）、負債総額41億円（同36億円、同265億円）、1件当たりの負債額5億円（同9億円、同37億円）となっている。

なお、柏崎地域では柏崎市が40%出資する第三セクターの（株）柏崎ぶどう村が、5月2日に新潟地裁長岡支部へ自己破産を申請したことで、1件、負債総額1億6,390万円が発生している。

県内地区別では下越地区7件（新潟市5件、佐渡市1件、五泉市1件）、中越地区1件（柏崎市1件）、上越地区では発生していない。業種別は製造業2件、販売業3件、サービス業・その他3件で、倒産原因別の状況は販売不振6件、その他の経営計画の失敗1件、その他1件となっている。

県内企業倒産は、大型倒産（負債10億円以上）が1件、負債総額31億円発生している。全体では前年同月比で4件、負債総額5億円の増加、前月比で1件増加したが、負債総額は224億円の減少となっている。

当月の倒産は小規模な倒産が大半を占めていることや、内訳はサービス業が3件、小売（販売業）が2件と消費関連業種での倒産が目立っているなど、景気回復局面のなかでも個人消費回復の遅れや大手業者との競争から二極化が進んでいることが窺え、中小・零細企業の淘汰が加速していくことが懸念される。